

Movie "Jin Jin" Location Map in KEMBUCHI

北海道 剣淵町ロケ地マップ

じんじん

映画

絵本の里・剣淵町を舞台に映画を創りたい。最初は半信半疑だった話題が少しずつ具体的になりはじめたのが平成21年9月頃。私たちの戸惑いは、やがて主演の大地康雄さんや多くの出演者やスタッフの人達と一緒に映画を作る喜びへと変わっていきました。北海道の小さな町・剣淵町が熱く一つになって製作に参加した映画「じんじん」。舞台となったロケ地をめぐり、銀幕の世界にふれてみてください。きっとあなたの胸の奥に、「じんじん」が蘇ることでしょう。

企画・主演 大地康雄 監督・山田大樹 脚本・坂上かつえ

絵本原案 明川哲也 題字・絵本原画 あべ弘士

キャスト 佐藤B作・中井貴恵・村田雄浩・小宮孝泰・中田喜子・小松美咲・井上正大・絵沢萌子・若村麻由美・板尾創路・手塚理美

©映画「じんじん」製作委員会





2012.6.9 sat **A レークサイド桜岡**
剣淵町の温泉・ホテル・レストランがある最大の施設。毎年、「けんぶち絵本の里大賞」授賞式もここで行われています。



2012.6.3 sun **B VIVAアルパカ牧場**
北海道で初めてのアルパカ牧場。フレンドリーでアットホームなスタッフとかわいいアルパカ達が魅力。山の上から見る景色は絶品です。



2012.6.3 sun **C 道の駅「絵本の里」けんぶち**
北海道の道の駅の中でもトップの人気を誇ります。焼き立てのパンが一番の人気商品。レストランも落ち着いた雰囲気でお食事を楽しむことができます。



2012.6.5 tue **D 金子邸**
銀三郎が剣淵町で生活する舞台となった家です。普段は使われていなかったのですが、映画の中ではいきいきとした生活感に溢れています。



2012.5.29 tue **E JR剣淵駅**
映画「じんじん」ができるまでは、北海道ではどこにもある無人駅でした。今は有志によって「じんじん」を紹介する展示をしています。



2012.6.10 sun **F 剣淵高校**
剣淵町唯一の高校。旭川市や近隣町からも通学する生徒がいます。映画では高校らしく爽やかなシーンの舞台となっています。



2012.5.29 tue **G 西尾農機**
大きな農機具を背景にする舞台では、西尾農機さんが快く撮影協力してくださいました。物語に起伏をつける家族の会話が交わされます。



2012.6.1 fri **H 絵本の館**
映画「じんじん」と剣淵町を結ぶ重要な場所となりました。剣淵町が長年、取り組んできた「絵本の里」の原点となる施設です。



2012.5.29 tue **I 高橋農場「天の川農園」**
映画の舞台ともなる天の川農園は、実際にある同名の農場で撮影されました。農場経営者の高橋毅さんは、映画の中にも登場しています。



2012.8.3 fri **J パッチワークの丘**
北海道の雄大な風景をほうふつとさせる、剣淵町の丘の風景。ひろびろとした大地は、「じんじん」の心温まるストーリーにぴったりの景色です。



2012.8.3 fri **K 眺望の丘バス停**
素晴らしい風景の上に立つバス停は、この映画のために設置されました。現在でもそのまま残されており、中には町民と大地さんとの写真などを展示。



2012.6.1 fri **L 森の刻**
町はずれにある「森の刻」は、他の舞台とは雰囲気の異なるシーンとして登場します。剣淵らしくないモダンな建物です。

私と「じんじん」



佐々木 智雄さん (剣淵町長)

剣淵町には民間パワーが眠っていて、この映画作りにも積極的に参加していただきました。それこそが絵本の里の魅力なのだと感じています。この映画を通して多くの皆様に剣淵町を知って頂き、来て頂けることを楽しみにしております。



秋庭良雄さん (剣淵町観光協会事務局長)

私はこういう場所はないだろうかと相談されると、それに合ったロケーションの場所を見つけてきたりしました。映画になる前から「いい場所だね」と話していた場所が使われることは嬉しいと思います。ぜひ全国の皆さんも直接、見に来ていただければと思っています。



穴戸ひろ子さん (JA 北ひびき剣淵女性部長)

ちょうど農作業の忙しい時期でしたが、田植えが終わって一段落した頃の二日間、炊き出しをしました。監督さんには、剣淵をたくさんアピールして欲しいとお願いしました。素晴らしい出会と思い出もできて、このような機会を作ってくれた大地さんには本当に感謝しています。



高橋 朋一さん (VIVA マルシェ代表)

農作業の一番忙しい時期でしたが、大地さんの誠実な人柄にふれて、進んでお手伝いしました。信頼しあえる関係が最大の宝となりました。剣淵町は、まるで絵本のように絵になる町です。ぜひ、遊びに来て下さい。



高橋 毅さん (天の川農園)

絵本の里づくりを始めた一人ですが、改めて大地さんに絵本の素晴らしさを教わりました。映画作りを間近に見させて頂いて、普通では考えられないことばかりで本当にすごいなと感心しました。絵本の里が映画の舞台となるなんて、思っても見ないことで感慨深いです。



細田正勝さん (建設会社社長)

モンゴル人の役として出ています。町づくりには積極的に取り組んでいて、イベントやお祭りの運営もすすんで行っています。大好きな剣淵町のためなら、何でもやろうという気持ちです。この映画で剣淵町の良いところが全国にアピールできるなら、とても嬉しく感じます。



玉根真弓さん (絵本の館勤務)

スタッフの皆さんの「良い作品を作ろう」という思いが伝わってきて感動しました。絵本の館は開館以来、多くの子供達がここで育ち、今はその子供達が親となって利用しています。絵本の里という心を育て、人と人をつなげる取り組みが全国に紹介されることを嬉しく思います。



井下穂乃香さん (剣淵中学校3年生)

吹奏楽部として映画の中の授賞式の演奏をしました。曲は1ヶ月前に知らされ、皆で急いで練習をして仕上げました。撮影の間近に見て、役者さんや映画関係者の皆さんと剣淵町の町民が心をひとつに頑張っている姿に感動しました。

Story



立石銀三郎(56)は伝統芸能を支える大道芸人。よくなつた一人娘は、銀三郎が毎晩のように語り聴かせるお話が大好きだった。しかし妻と別れてからは会うことを許さず、娘との思い出は彼女が6歳のまま止まっている。ある日、銀三郎の幼なじみが営む農場に農業研修で女子高生4人がやって来た。そこに里帰りした銀三郎。出会いは最悪だったが、大自然に抱かれ、土に触れ、剣淵町の優しい人々とふれあううちに次第に距離は縮まっていった。しかし、ただ一人、日下部彩香だけは心を開かない。いぶかる銀三郎は、ある日、彩香の秘密を知ることになるのだった…。

Cast



大地康雄 (立石銀三郎) : 1951年生まれ、熊本県出身。75年、テレビドラマ「剣と風と子守唄」で俳優デビュー。79年「衝動殺人・息子よ」(木下恵介監督)で映画デビュー。毎日映画コンクール助演男優賞、熊本映画祭助演男優賞、第4回につかつロマン大賞助演男優賞、日本アカデミー賞助演男優賞、アジア太平洋映画祭主演男優賞を受賞。映画「恋するトマト」では、自身、企画・脚本・製作総指揮・主演の1人4役をつとめた。



小松美咲 (日下部彩香) : 静岡県出身。(株)サンミュージックブレーン所属。2011年、舞台劇「KOKORO ココロ」主演:リン役、「見よ、飛行機の高く飛べるを」、ミュージカル「源氏物語」夕顔役、フジテレビ「チーム・バチスタ3 アリアドネの弾丸」。2012年、日本テレビ「音龍門」などに出演、活躍の場を広げている。ミスFLASH2012グランプリを受賞。



佐藤 B 作



中井貴恵



村田 雄浩



小宮孝泰



中田喜子



井上正大



絵沢萌子



若村麻由美



板尾創路



手塚理美

北海道 剣淵町と「じんじん」



剣淵町は北海道中央部の都市・旭川市から国道40号線を北に向かって50km程のところにある、人口約3,500人の農業を中心とした町です。昭和63年に町の若者たちが「けんぶち絵本の里を創ろう会」を結成、平成16年に「絵本の館」が新たにオープン。世界中の絵本約45,000冊を収蔵し、全国への貸し出しも行っています。また「絵本の館」では、絵本原画展、読み聞かせ、絵本づくり、親子教室など様々な活動のほか、メインイベントとして「絵本の里大賞」を開催。

絵本の里づくりは絵本と福祉と農業が一体となった文化を創造し、町では住民の皆さんが絵本の持つ「温もりと優しさ」に触れ、「思いやりのある豊かな心」を育てています。こうした背景は映画「じんじん」の舞台としてふさわしいまちであると大地さんに認められました。

その他、剣淵町には、温泉ホテル「レークサイド桜岡」や道北一景観の素晴らしいパークゴルフ場、高い人気を誇る「けんぶち道の駅」、剣淵の観光スポットとして成長を続ける「けんぶち VIVAアルパカ牧場」などがあります。

このロケ地マップは緊急雇用創出推進事業により作成しています